

令和2年4月1日現在 人口 2,702人 男 1,330人 女 1,372人 世帯数 1,060戸

令和二年度を振り返って



新村卓自治会長

自治会長に就任し一年になるうとしています。副会長をはじめ、役員、女性部員とともに活動し、その活動に当たっては、組長、副組長の皆様をはじめ、町民の皆様にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

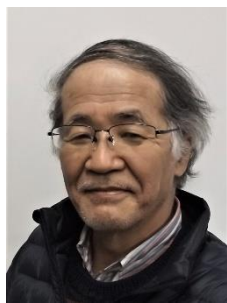
就任に際して、「地域は家族。地域のコミュニティを大切に」の思いを胸に刻んで、自治会運営に携わってきました。コロナ禍にあつて、納涼祭をはじめ多くの催しが三密状態を避けるため、中止のやむなきにいたりしましたが、そうした中にあつても「戦没者平和祈念式典」、「敬老祝寿会」、「起震車による地震体験を含めた津波避難訓練」等を行うことができました。

また、総会に代わる「書面表決書」に寄せられた町民の皆様からの叱声や貴重なご提言については、できるものは直ぐ実行の方針を立て、例えば

幼稚園世帯の町会費見直しに伴う幼稚園へのユーカー文庫の新設や村檜会館の設備更新などに取り組んでまいります。

今後、会員福祉の基礎となる「会員台帳の再整備」をはじめ、「より実践的な防災訓練」「町民が企画する納涼祭」などを検討し、可能な限り実施してまいります。

コロナ禍は今もつて収まらず、今年も模索の一年になるうかと思えます。役員と力を結集し、住みよい村檜のまちづくりを進めてまいります。



遠山通夫副会長

令和二年度は、コロナ禍により、会議や行事等自治会活動の中止や延期、さらには見直し等が迫られた一年でした。

しかし、そのような中にあつても、会員の皆様や役員をは

じめとする関係者のご指導・ご協力をいただき、初めての試みとなつた「書面表決書」による総会の開催や、十一年ぶりの規約改正、敬老祝寿会の開催等を行うことができ、さらに国税庁(税務署)による指導に対する対応を行ったことは、今後の活動にあつて有意義な経験となりました。

村檜町の伝統を重んじた行事や、自治会の目的である『住みよい環境作りと健康で明るい社会生活を築く』取り組みに、若干でも関与できたことに感謝をする一年でした。



小松信昭副会長

町内に初期消火に対応するため、四台の可搬ポンプがあります。市から貸与された一台と各字の蔵置所に収納されている三台です。

富士ロビン社製の三台は、昭和五五年七月に製造打ち切りになり、修理部品も入手困難な状態で、製造後四十年以上も経過しているため、業者に点検を依頼したところ、「このポンプは、構造はシンプルですが、壊れやすい」とのことでした。しかし、幸い先輩たちの管理

が良かったこともあり、周辺部品の吸水管と筒先の交換で済みました。この四台の可搬ポンプが活躍することがあってはならないことです。

総会をもつて卒業しますが、町民の皆さまの協力なくしては自治会も機能しません。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。



堀野良一副会長

令和二年は、新年度から総会の開催も書面決議となり、行事も縮小か中止になり、あつという間に過ぎた一年でした。ことに、納涼祭、秋祭りの中止は、町民が毎年楽しみにしていたことで、残念でした。個人的には、趣味のジョギングで町内隅々まで廻ることを心がけ、道路の損傷、ごみ出しの状況などを見ることができました。

特に、収集日前のごみ出しがかなり頻繁にされていることが気にかかり、広報させていただきました。

今後は、退任しますが、一住民として自治会活動に協力させていただきます。



藤田敬一
会計

コロナ禍の中、各種行事が一部中止になったものの、会計処理は昨年並みの量がありました。当たり前のことでありますが、間違えなくスムーズに処理できたことを嬉しく思います。

また、今年度は、音響機器の購入、墓地樹木の伐採など、大口の予算執行もありましたが、滞りなく遂行できたことに感謝です。



松下保夫
事業部長

役員一年目の一昨年は、指示に従って作業を行うのに精一杯で、町民の方々に、いかに楽しんでもらえるかを考える余裕ありませんでした。

今年度こそ頑張ろうと思っていた矢先、コロナ禍で、メインイベントの納涼祭が中止となり、担当者として非常に残念な思いがしています。来年度は、納涼祭が開催できることを願っています。



徳増松博
総務部長

自治会活動もコロナの影響で納涼祭、運動会などの行事が中止になり、皆様の生の声を聞く機会が少なく、各世代の交流の場も持てなかつたことが心残りです。

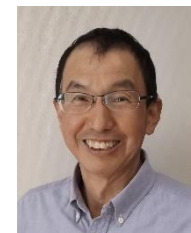
広報ムラクシの紙面を通して、町民の皆様には自治会の考え方、町の様子をお知らせできました。これからも広報紙が町民の交流の一助になればと思います。



徳増陽子
女性部長

女性部主催の交流会は、長寿クラブの方々の、温かなエールにより開催できました。偉大な諸先輩に感謝★

敬老会では、一人ひとりに手書きのメッセージを届けました。女性部として今年できることを相談して実現しました。素敵な仲間にも感謝♥
二年間貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



山下優司
健康安全部長

近年の自治会では最少での評議員で、わからないことばかりでしたが、先輩の方々にいろいろと教えていただき、自分なりの恩返しと楽しい自治会活動ができましたことに感謝します。

これからは、「住んで良かったふるさとをむらくし」をキヤッチフレーズとして、ネットより発信していきます。



宮本隆三
生活環境部長

コロナであろうがなからうが、また各種行事が軒並み中止になっても、人々の生活は、不断に継続しています。加えて、自然界の草木も季節にに応じて成長し実を結び、種を散らします。

そんな町民の皆様の生活環境を安全・快適に維持するため、活動してまいりました。ただ、心なしかごみ集積所のごみが、おうちごはんが増えたいでしょうか、増加傾向にあり、ルールが守られていない場面が見られます。



フジムギ 489-2022

藤田 浩さん、志保美さん



「商売は、のんびり、楽しく」と照れくさそうに語る浩さん。寡黙ながら、人懐っこい笑顔が素敵なお主人です。

創業は大正4年、100年以上続くお店です。麦の販売から始まり、お米や衣料の販売、そして今ではクリーニングや宅配の取次まで幅広く、町に

欠かせない存在です。「買い物の間にはお話し相手を」と朗らかな志保美さんと二人三脚で頑張っています。

祭りの実行委員会の創設時から、長く祭りの運営に関わり、たくさんの人を知るご主人、好かれるお店の原点がここにありません。



ユウカリ文庫 佐野広実 著

案内 「わたしが消える」

講談社(2020)」



元刑事の藤巻智彦は、妻と離婚し、マンションの管理人の一人暮らし。交通事故の際に受けた脳の検査で、軽度の認知障害と診断される。今後、認知症に移行する可能性があるという。

一人娘の大学生の祐美から、実習先の介護施設先に置き去りにされた、身元不明の男性で重度の認知症患者の身元調査を依頼される。認知症への進行不安の中、残された時間で自分に何ができるのか、患者の身元は突き止められるのか。

近い将来、老人の5人に1人が認知症にかかると言われる今日、気になる社会派小説である。

自治会の活動予定



自治会事務所・村榭会館
053-489-2002

- | | | |
|----|----|----------------------------|
| 3月 | 13 | ガーデンパーク花壇植替え |
| | 14 | 墓地・町有地清掃 |
| | 19 | 会館運営委員会／役員会／新旧役員顔合わせ・事務引継会 |
| | 21 | ポンプ点検 |
| | 22 | 回覧物配布 |
| | 31 | 会員台帳提出×切／ごみ集積所点検 |

- | | | |
|----|----|-------------|
| 4月 | 2 | 広報委員会 |
| | 5 | 自治会監事監査／部長会 |
| | 8 | 回覧物配布 |
| | 11 | ポンプ点検 |
| | 16 | 役員会 |
| | 17 | 組長会 |
| | 22 | 回覧物配布 |
| | 30 | 村榭会館清掃・臨時休館 |